

令和7年度 第17回楠祭開催 決定!!!

令和7年5月30日(金)本校実施 5月31日(土)一般公開

今年度の6月初旬に第16回楠祭が開催されました。『3年に一度の開催』や『コロナ渦』の影響もあり、7年ぶりに一般公開の文化祭を開催しました。7年も時間が経つと職員も入れ替わり、前南の文化祭の様態を分かっている人の数は少なく、教員・生徒も試行錯誤しながら文化祭を作り上げました。生徒会はこれまで『生徒が主体的に運営する文化祭』を作り上げるためには、『連続開催が必要不可欠』であり、そのための協議を重ね、生徒や職員にアンケートを取りながら、慎重に検討していきました。その成果もあり、『来年度も文化祭を開催する』ことが決定しました！今後は生徒会を中心に、実行委員を募りながら、『主体的に』文化祭を運営するためにできることを考えていく予定です。いきなり抜本的な改革はできないかもしれませんが、生徒の『主体性』を尊重しながら、生徒ともに文化祭を作り上げていきます。今後も『MAENAN SAH Journal』で、生徒の取組を紹介していく予定です。
(生徒会担当：原澤 正樹)

1. 文化祭実行委員・スローガン・ポスター募集中について

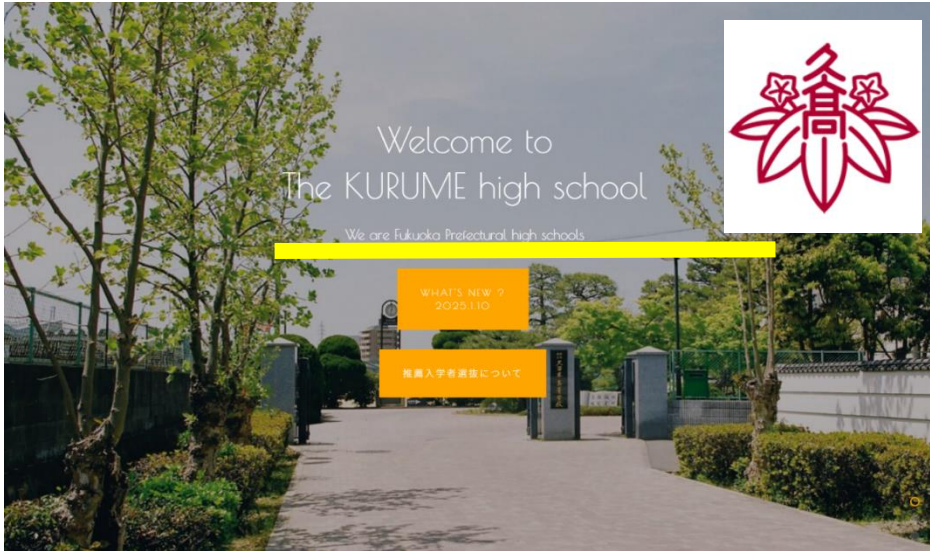


令和7年度第17回楠祭の開催が決定したことで、『文化祭有志実行委員』・『文化祭スローガンの募集』・『文化祭ポスター』の募集を開始しました。11月後半から生徒会で呼びかけポスターを作成し、各クラスに掲示しました。また、生徒会本部役員で1・2年生の各クラスを周り、実行委員の募集を直接呼びかけました。文化祭の運営に際して、運営に協力してくれる生徒の数は必須となります。『主体的に』取り組むためには、生徒たちの協力が必要であり、生徒のみなさんの支えではじめて文化祭が成り立ちます！それぞれの募集については締め切り日を設けていますが、『有志』として参加したい生徒にどしどし応募していただき、自分の成長につなげていってほしいです。みなさんの応募をお待ちしております！！！！！！

2. 福岡県立久留米高校と生徒会の交流について

12月上旬に本校の生徒会本部役員は『福岡県立久留米高校』の生徒のみなさんと交流しました。今回交流した久留米高校の2年生の生徒たちのグループは『NEW セサミプラン（総合的な探究）』の活動の一環として、自校に『アイスクリームの自販機』を導入するために活動しており、本校の生徒会が取り組んだ『アイスクリームの自販機の導入』についての情報を知り、本校に連絡をしてくれました。今の1・2年生の生徒会にとってははじめての他校の生徒との交流であり、交流を楽しみつつ、非常に有意義な時間を過ごすことができました。前南生徒会の取組が遠く離れた福岡県の高校生にまで届くなんてすごいことです！！

☆福岡県立久留米高校の『NEW セサミプラン』とは??



総合的な学習(探究)の時間に実地している本校独自の課題研究活動「NEW セサミプラン」は久高生一人一人の未来を拓く力を養います。学年ごとの課題研究や小論文講座を通じて、日本、世界が抱える問題や、進路希望に関するテーマについての知識を獲得します。論理的に思考できる力や、社会の一員として何を為すべきか自ら考え、課題を発見し、解決するために行動できる力を身につけます。
(引用：<https://kurume-highschool.ed.jp/education.html>)

↑上の説明は久留米高校のHPの中にある、『NEW セサミプラン』についての説明です。今回交流した久留米高校の2年生はこの『NEW セサミプラン』にある『課題研究』の中の活動であり、グループに分かれ、自分の興味のある分野について調べ、研究し、発表することになっています。

グループ別にテーマが異なり、言語、風土、歴史、文化、メディアなどさまざまなテーマについて高校生ならではの着眼点を持ちつつ、多面的・多角的にテーマを分析、研究しているようです。

☆久留米高校との交流の様子

当日の交流はオンラインで行いました。久留米高校の生徒たちは、自校に『アイスクリームの自販機』を導入するために、前南の生徒会がアイスクリームの自販機を導入した経緯や、実際にそれに向けた取組など熱心に尋ねてきました。本校の生徒会の生徒も自販機導入当時の様子を振り返りながら、資料を提示し、説明をしていました。久留米高校の生徒たち、前南生徒会の生徒たちの双方とも、住んでいる場所の距離こそ離れているが、同じように『目的』を持ち、『主体的に行動している姿』はとても輝いており、授業だけでは得られない学びの機会となったと感じました。



☆今回の交流での生徒の感想

実際にお話をさせていただくなかで、同じように『自ら考え、判断し、行動する』ことを積極的に取り組んでいる仲間がいると知ることができ、大きな刺激を得ることができました。久留米高校のみなさんは自分たちの活動をとても楽しんでいて、そのような姿勢にも大きな刺激を受けました！何より嬉しかったのは、今まで他校にインタビューをさせていただく側だった私達が今度は『受ける側』になったことです。改めて、私たちの取組について情報発信して下さっている方々に感謝しなければならないと強く思いました！ 生徒会長 腰高紗依

私たちが今までしてきた活動が福岡まで届いていたことが1番の驚きであり、喜びでした。『話をする側』になるのは初めての体験であり、とてもくすぐったい気分になりました。距離は離れているけれど、同じ思いで、同じものを目指している仲間がいると思うと、心強く、嬉しい気持ちでいっぱいです。何かを変えようと『自ら動き、目標に向かって努力する姿』はやはり最高にかっこいいと思いました。これからも必死に努力して、思い描く理想の自分になりたいです。 2年副会長 小此木いろは

私は、全国にある高校の中から群馬の前橋南高校に興味を持ってくださったことに衝撃を受け、それと同時に生徒会の活動の幅広さを実感しました。私自身、先輩方がどのように『アイス自販機』を実現させたのか具体的には知らなかったのですが、知るいい機会となりました。これからの活動の中では、『段階を踏んで物事を進める能力』をさらに高め、先輩方の後を継げるように準備したいです。 1年監査 新井稀唯

★教頭より★ 遠く離れた『福岡県立久留米高校』の生徒にまで、本校の生徒会の取組の情報が届き、連絡をいただけたことは大変本校の生徒にとって大きな励みとなり、さらなる意欲の向上にもつながったことでしょう。実は職員に対しても全国から問い合わせや視察の申込みが届いており、『札幌市立札幌新川高校』『京都府立宮津天橋高校』『新潟県立燕中等教育学校』の先生方が来校され、情報交換等をさせていただいております。また、『2年連続の文化祭』が決定しました！『5/31(土)の一般公開』にぜひお越しください！教頭 星野 亨

★校長より★ ①文化祭実行委員について…文化祭実行委員なしで文化祭が成功することは絶対にあり得ません。仕事は色々あるかもしれませんが、必ず皆さんの成長につながります。高校生でなければできないことです。積極的に挑戦して欲しいと思います。②久留米高校との交流について…SAHでも、探究活動でも新しいことを考えようとしたとき、手段の一つとして「参考となる取組をしている人にインタビューをする」ことがあります。インタビューをする側にも受ける側にも、とても意味のある活動です。今回、オンラインの活用により九州の生徒からインタビューを受けることができました。皆さんも活用を考えてみてください。校長 原 拓史